

♪K.M.C.通信♪ 2020-No. 6

2020. 2. 16 発行

♪練習の都度、出席簿のチェックをお願いします。出席回数の確認に必要です。

♪参加費の納入を 2 月末までをお願いします。[参加費¥15,000+ノルマチケット 5 枚 ¥10,000=¥25,000] 参加費は封筒に入れ、氏名とパートを明記の上、納入して下さい。

♪チラシ、チケットができています。宣伝にご協力下さい。情報誌への掲載、ポスター掲示やチラシ置きのできる場所、チラシを挟み込める演奏会などの情報もお待ちしています。

♪練習メモ♪

本練習⑤ 2020.2.9 ゆうまつど

ドイツレクイエム 第7曲

- ・2～7小節 Sop.長いフレーズ、4小節の“sind”と“die”の間ではブレスをしない。“sterben”の最後まできれいに歌えるペース配分を考えて。10小節～の Bas.も同様。
- ・12小節 Bas. “Töten” Tを先に息で発音してから Öの母音へ。
- ・40小節 Alt.以下“Ja,”揺れない。41～42小節“Geist spricht,”4つの子音を言うタイミングに注意。
- ・48小節～は天国の世界。その中で調性が変化していくのを感じて。
- ・83小節で転調した後の4小節間は、特別なものとして非常にていねいに。

ドイツレクイエム 第6曲

- ・c-moll (♭3つ)は「英雄の葬送行進曲」の調。たとえばベートーヴェンの英雄交響曲の第2楽章。ちなみにドイツレクイエムの第2曲は葬送行進曲だがc-mollでないのは、英雄ではなく一般の人の葬送だから。
- ・153小節～スタカートは楽譜通りに。
- ・304小節～はテーマが Bas.から順番に4度ずつ高い音で重なっていく。準備して。
- ・349小節 Sop.最後の音は Eではなく Cに下がり、密集度の高い和音を作る。そこでしっかり支えを下ろしておけば、次の第7曲に無理なく入れるように書かれている。

アルトラプソディ

- ・116小節 合唱の歌い出しは、先立つ長い Alt.ソロを経て初めて C-dur が確立する場所。落ち着き、癒しの C-dur の和音の響きを早めに作って。
- ・123小節～各パート“erquicke”の“qui”をわずかに強調。
- ・128小節～曲想が変わるが、先行するソロについていけば大丈夫なはず。

※ 通信に載せる練習メモは、本練習でやった内容の抄録です。網羅していない部分は録音を聞いてご確認下さい。